

つたざわ



〈学校教育目標〉

こころ豊かで
主体的に学び、
ともに高め合う
蔦沢っ子の育成

積み重ねを大切に一年に

馬(午)の如く、前を向いて力強く

校長

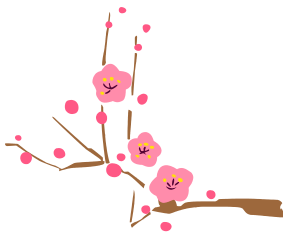
新年、明けましておめでとうございます。

新しい年を迎え、学校にも新年ならではの引き締まった空気が戻ってきました。冬休みを終え、元気に登校してくる子どもたちの姿から、またひとつ成長した表情や、これから始まる一年に期待している様子が感じられ、とても嬉しく思います。

今年は千支でいうと「午(うま)」の年です。馬は、力強く大地を踏みしめ、前を向いて進む姿が印象的な動物です。一方で、周囲の様子をよく見て仲間と歩調を合わせる、賢さや優しさも併せ持っています。この「前に進む力」と「周りを見る心」は、今の子どもたちに大切にしてほしい姿そのものだと感じます。

二学期には多くの学校行事がありました。その中でも特に、運動会と学習発表会の二つは学校を代表する大きな行事でした。運動会練習では「そろえる」を合言葉に、そして学習発表会練習では「つたえる」を合言葉にして、六年生を中心にみんなで力を合わせて練習に取り組みました。その結果、一人ひとりの個性が輝く素晴らしい会を創り上げることができました。

しかしながら学校生活では、学習や行事、人との関わりの中で、思うようにいかないことに会う場面も少なくありません。立ち止まってしまふこともあれば、到達地点へ遠回りをしているように感じることもあります。しかし、馬が一步一歩確かに地面を踏みしめながら進むように、子どもたちの成長も、目立たない一步の積み重ねによつ



て形づくられていきます。すぐに結果が出なくても、続けること、諦めずに向き合うことが、やがて大きな力となっていきます。

一月は一年の始まりであると同時に、寒さの厳しい季節でもあります。校庭の草木は静かに春を待ち、今は力を蓄えている時期です。子どもたちもまた、外からは見えにくいところで考え、悩み、心を育てています。私たちは、その小さな変化や努力を見逃さず、認め、励ます存在でありたいと考えています。

本校では子どもたちに常々、「結果だけでなく、挑戦する姿勢や取り組み過程を大切にしましょう。」と話しています。失敗しても、もう一度立ち上がり、前を向いて進む姿勢は、まさに午年にふさわしい成長の姿です。子どもたち一人ひとりが自分の歩幅で、安心して前に進めるよう、私たち教職員一同、蔦沢小学校の教育活動にそれぞれ立場から取り組んでいこうと思います。

保護者や地域の皆様には、日頃より本校の教育活動に深いご理解と温かいご支援をいただき、心より感謝申し上げます。子どもたちは、学校・家庭・地域のつながりの中で、大きく育っていきまふ。今年も引き続き、子どもたちの成長を共に見守り、支えていただければ幸いです。

寒さの中にも、少しずつ春の気配が感じられる季節です。一日一日を大切にしながら、子どもたちとともに前向きに歩みを進め、実りある一年を築いていきたいと思ひます。

本年もどうぞよろしくお願いいたします。

つなぐ防災教育を生かす

防災教育担当

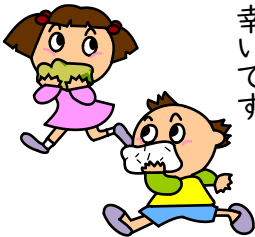
昨年は阪神・淡路大震災から三十年という節目の年でした。そして今年、東日本大震災から十五年を迎えます。地震や豪雨など自然災害が頻発する日本において、子どもたちが自らの命を守り、周囲と協力して行動できる力を身につけることは、これからの社会を生き抜くうえで欠かせない力だと考えています。今回は、その中でも「つなぐ」という言葉に注目したいと思います。

一つ目は「日常につなぐ」です。防災教育は、特別な日だけに行うものではなく、日々の生活の中に自然と根づいていくことが大切です。四月には火災を想定した避難訓練を行いました。新しい学年や教室での初めての避難に、子どもたちは少し緊張した様子も見られましたが、先生の指示をよく聞き、ハンカチで口を押さえて煙を防ぐなど落ち着いて行動していました。九月には地震を想定した訓練を行いました。二回目ということもあり、避難の動きはよりスムーズになっていました。机の下で身を守ったり、座布団で頭を保護したりと、火災と異なる状況でも落ち着いて行動する姿に、子どもたちの成長を感じました。

こうした訓練を繰り返すことで、学んだことが日常生活に生かされ、いざという時に自然と体が動くようになり、命を守る力へとつながっていくと感じます。

くと感じます。一月十六日にも避難訓練を予定しています。この訓練の学びも「日常へつなぐ」大切な機会となるように実施していきたいと思ひます。

二つ目は「未来につなぐ」です。防災教育の第一歩は、まず、知識を得ることだと考えています。そして、これまで私たちが見たたり聞いたたりしたことを伝え、経験をつないでいくことが大切です。こうした積み重ねが、将来どこにいても自らの命を守る行動につながると実感しています。東日本大震災では、岩手県三陸地方に古くから伝わる「津波でんでんこ」という言い伝えが注目されました。これは、「津波が来たら、命を守るためにいち早く各自でんでんばらばらに高台へ逃げろ」という教えです。この言い伝えを実践した釜石市の小中学生たちは、地震の後すぐに高台へ避難し、多くの児童・生徒が無事に助かりました。この出来事は、日ごろの防災教育やこれまでの教えが未来へとつながり、命を守った大きな教訓であると感じます。これからも、訓練を一度きりで終わらせるのではなく、子どもたちの心に「つながる」学びとして根づかせていけるよう、教職員一同取り組んでまいります。ご家庭でも防災について話し合う機会を持ち、さまざまな経験を子どもたちに「つなぐ」きっかけとしていただければ幸いです。



1月の行事予定

- 16日(金) 1・17を忘れない集会
放課後チャレンジ塾
- 17日(土) 書き初め展(はがてらす)
- 18日(日) 書き初め展(はがてらす)
- 20日(火) いのちの教育(1年生)
クラブ活動・ささゆり号
- 21日(水) 校内ファンラン大会
(予備日22日)
お楽しみ読書
- 23日(金) 放課後チャレンジ塾
- 28日(水) 全校終会 14時10分
- 30日(金) 放課後チャレンジ塾

2月の行事予定

- 6日(金) 授業参観日・学級懇談会
6年親子給食
学校評議員会
- 9日(月) 集金日
- 10日(火) 委員会活動
- 11日(水) 建国記念の日
- 13日(金) 新入生入学説明会
体験入学
放課後チャレンジ塾
- 17日(火) ささゆり号・クラブ活動
- 18日(水) お楽しみ読書
- 20日(金) 放課後チャレンジ塾
- 23日(月) 天皇誕生日
- 27日(金) PTA新旧理事会



児童作文より

ねことあそんだ

一ねん

ぼくは、いたみのおばちゃんといえて、ねことあそびました。ねこの名まえは、ほたるです。ぼくが、えびのおもちやをなげると、ほたるがえびをおいかけてかわいかったです。ほたるをだっこするとふわふわでした。



だいこんとり

一ねん

きょうは、だいこんとりをしました。はじめは、ぬくのじかんがかかったけど、二かいめになると、はやくなりました。だいこんだけじゃなく、はくさいもありました。はくさいは、さわるとしゃきつと音がしました。



おもちつき

二年

わたしは、おもちをまるめるのを手つだいしました。さいしよに米を手につけました。手に米をつけた時、にぎったらかたまつて、手でさわるとさらさらになりました。つぎにおもちに米をつけました。おもちをちぎってもらつて丸めました。丸める時にちよつとあつかつたて

す。えびをおもちにいたらきれいなうすい赤色になりました。ちよつとつまみぐいをしてみると、おいしかったです。かがみおちは大人が作りしました。学校の友だちともしました。百こいじようは作りしました。おもちは、しわしわになるので早く丸めました。おもちえびときながおもしろかったです。一番すきなあじはえびのおもちです。来年もおもち作りをしたいです。



おもちづくり

三年

おもちづくりは、おばあちゃんの家でした。朝の八時にしました。おもちをきかいでつきました。きかいでつけたら、もちとり盆に入れて、つくえにおいて、おもちを丸めて、もちばこに入れて運びます。おもちにきなこをかけて食べたらいしかったです。

次に、あんこもちをつきました。おもちをぺったんこにしてあんこを入れました。ぼくは、あんこを入れる役をしました。とてもむずかしくて、とちゅうでこうたいしました。最後は、かがみもちをつきました。一つは大きくて、二つはふつうの大ききで、上にみかんのせました。ほしがきとうらじろを下におきました。

また来年もうまくつくりたいです。

初めてのフェリー

四年

冬休みの、十二月二十七日に、おばあちゃんに会いに行きました。まず、広島県のパーキングエリアに行きまし

た。そこで、夜ごはんを食べました。スターバックスのまっ茶のジュースを飲んでおいしかったです。

兵庫県から宮崎県まで一日で行くのはしんどいので、山口県でとまりました。

宮崎県について、料理の手伝いなどをしました。楽しかったです。

帰りは、宮崎県から兵庫県までフェリーに乗るので、ドキドキしました。ゆらゆらしているの、よっている人もいました。フェリーの中には、クレーンゲームなどもあつて楽しめました。

初めてのフェリーも楽しかったけど、もうちよつと宮崎にいたかったな。



冬のごちそう

五年

ぼくが冬休み中に食べたごちそうを紹介します。

まず、初めに、クリスマスのごちそうです。チキンやすしやケーキを食べました。サクサクのチキンにフワフワのケーキはすごくおいしかったです。

次は、大みそかの年越しそばです。上にえび天がのつたそばです。えび天はサクサクで、めんはもちもちで、だしがよくきいていてすごくおいしかったです。

そして、お正月のおもちです。毎年、おじいちゃん、おばあちゃんの家で作っています。まず、もち米をむして、もちつき器でつきます。できたら、手のひらサイズに分けていきます。すきな味をついたら完成です。ぼくのおすすめは、大根おろしポン酢ときなこです。もちもちのもちが最高にいいです。

それから、お節料理です。色とりどりきれいです。えび、イクラ、だしまきなどが入っています。それは、山崎のおばあちゃんの家で食べました。一番おいしかったのは、ぶりの照り

焼きです。福岡でもお節料理を食べました。どちらも、ぶりの照り焼きが一番おいしかったです。

おぞうにも食べました。作ったもちをおぞうにしました。もちが、ビヨーンとのびてすごくおいしかったです。

最後は、カニです。ゆでて、中のプリツとしたところをポン酢とからめて食べると、ものすごくおいしかったです。カニぞうすいにもしました。外の寒いときに食べると最高にいいです。

今年もおいしいものをいっぱい食べたいです。



新年の初夢

六年

ぼくが、初夢で縁起が良いと思うもの一つ目はお米です。理由は、その年においしい食べ物食べられるようになると思ったからです。

二つ目は、太陽です。なぜかというと二〇二六年、三六五日、明るく楽しくすごせるようになると思うからです。そして、太陽のように明るく元気に毎日をすごしたいからです。

最後は、家族です。理由は、毎日楽しく過ごせるという意味で、二〇二六年だけではなく、その次の年も、またその次の年もしあわせに楽しくすごせるという意味があるからです。

このように、ぼくは、この三つを考えましたが、本当に夢に出てくるかどうかは分かりません。もしも出てきたらすごくうれしいです。みんなが選んだ縁起の良い初夢も教えてください。

